

人材育成プログラム実施報告書④		④フィールドワーク
日 時	令和7年1月16日(木) 13:00~14:00	
場 所	安芸郡太田町来夢とごうち道の駅・交通結節点(バスターミナル等) JA 広島市戸河内支店 2階会議室	
件 名	共創・MaaS実証プロジェクト・モビリティ人材育成事業 持続可能な交通網の創造・都市と地方の人流をデザインする人材育成事業 ④コーディネータースキル強化	
参加者	有限会社大朝交通 堀田 祐作 壬生交通株式会社 友廣 久司 有限会社八重タクシー 田中 宏幸 有限会社総合企画コーポレーション 松田 直志 ホープバス協同組合 堀田 高広 三段峡交通株式会社 栗原 重幸 加計交通株式会社 北広島町まちづくり推進課 小笠原 麻美 一般社団法人地域商社あきおおた 寶珠 真一 一般社団法人地域商社あきおおた 有田 隆司 一般社団法人地域商社あきおおた 志水 大将(現地講師) みらい株式会社 長沼 拓磨 みらい株式会社 増井 雄一郎 安芸太田町企画課 上 祥夏 株式会社ライフサービス 石原 淳三郎 株式会社ライフサービス 橋本 潤一郎 きっちんたまがわ 玉川 洋子 公益財団法人青年海外協力協会 JOCA×3 佐々木 学 【事務局】YMZOP 森本、後、黒口	
1. 実行委員会会長挨拶(ホープバス 堀田氏) ✓ 本日の開催概要説明		
2. フィールドワーク-コーディネータースキル強化研修 (1)MOBIRY(モビリティ)活用事例現地視察(現地講師:地域商社あきおおた 志水氏) <ul style="list-style-type: none"> ①現地視察(道の駅 来夢とごうち) ②現地視察(バスターミナル 戸河内 IC 高速バス停) ③バスノ一旅の取り組みについて(JA 広島市戸河内支店 2階会議室) ①~③質疑応答		
①道の駅 バスノ一旅企画に付随する特典・コーディネータースキル強化の説明。スキー場のレンタル割引設定や、周辺店舗との連携の中で乗換乗車の待機中に現地消費を誘う500円券チケットの引換えについて説明あり。事業者との精算が発生することから、チケットの引き換えが必要となっている。引換時に参加者へアンケート調査(ヒアリング)を実施しており、広島県内だけでなく九州、岡山エリアからの参加者もある状況である。		

(質疑応答)

・特典の源泉やチケット清算の仕組みについて

スキー場特典については、スキー場サイドによる独自の割引設定で清算は発生しない。

その他については、チケット発行・引換により実績を確認。(源泉はDMOの持ち出し)

・現状の課題について

販売促進が課題である、若者向け(大学連携)のPRを行っている。現状では、JR広島駅の乗車ができない状況から県外参加者の導線に課題があり、広島駅の路線乗入を働きかけている状況である。

②バスターミナル

高速路線バスとスキー場送迎バスの乗降場所の現地説明・ご案内。ホームページ等で乗換場所の案内等を行うものの、道の駅に確認に来る旅行者は多い。スキー場送迎バス乗り場については、バスを目印として案内する方法で対応しているものの、案内看板やインバウンド向けの多言語情報の整理が課題である。令和9年には新たな道の駅建設が予定されていることから、そのタイミングで対応を予定している。

(質疑応答)

・待合時間の過ごし方案内について

道の駅窓口にお越しいただく旅行者のみに対応、バスターミナルでの対応は行っていない。

ターミナル内には、企画内容を紹介するチラシを張り出していることから、道の駅に誘導できている状況である。

・乗換案内について

路線バスの到着遅延情報などは既存の仕組みが活用可能であるが、多言語対応はしていない状況である。町内事業者のバスであれば、バスターミナルの利用は可能であることから、乗合タクシーへの乗り換えも同様の対応は可能と想定されるものの、管理者や交通事業者間で情報整理が必要と思われる。

③バスノ一旅の取り組みについて

販売促進活動が課題であるものの、継続企画であることから人数は増加傾向にある。県外旅行者の利用を促進するためにも、広島駅の路線乗入を早く実現したい。ターゲットを若者に絞り込み、広島県・岡山県内の大学生をターゲットにPRを行う状況である。その他、秋・春の企画も実施しており、新たに夏の企画の検討も進む状況から1年を通じた取り組みとして実施を予定する状況である。

(質疑応答)

・地元住民の利用について

高速路線バス利用者促進の一環として、発着逆パターンでも利用が可能となったことから、利用者も増えている状況がある。割引運賃については、高速バス運行会社の持ち出しとなるものの、財政補助対象路線として利用客の拡大を図っている。

・道の駅を基点としたその他企画や広域連携について

レンタカーの割引企画をはじめ、貨客混載の対応を活用した各地の地域産品の道の駅販売など検討を開始する状況である。(三原・三次エリアなど)

北広島町エリアとの連携により、両町の資源である自然資源を活用した企画の実現可能性に向け継続的な取組検討を行っていききたい。

—以上—

実施風景

道の駅 来夢とごうち



バスターミナル 戸河内 IC 高速バス停



JA 広島市戸河内支店 2階会議室



写真撮影・出所：事務局 (YMFG ZONE プラニング)